



三鷹市福祉会館(野崎)「権利擁護センターみたか」(平日午前8時30分〜午後5時15分、1203)が2階に開設

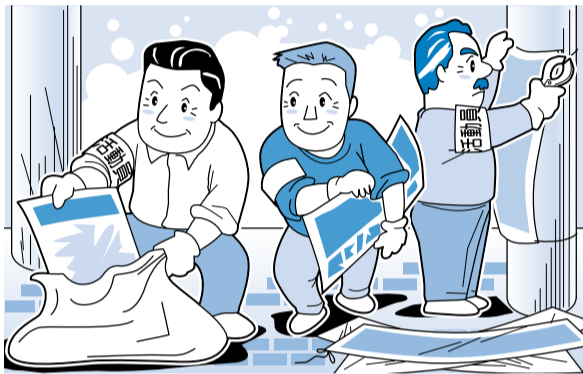
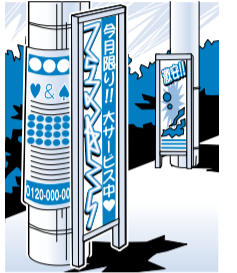
広報 MITAKA City Information

今号の紙面から

- 2 「(仮称)三鷹市農業公園」説明会を開催
- 3 丸池公園第2期ワークショップ開催
- 4 第33回三鷹市みんなの消費生活展
- 5 第3回姉妹・友好市町村わくわく交流フェスタ
- 6 子育てに生かすデジカメ入門講座
- 8 移動図書館巡回会場を変更
- 9 都営シルバーピアで生活協力員を募集
- 10 10〜3月生まれの30歳以上の女性の乳がん検診受付
- 11 市立・私立幼稚園児を募集

市民のみなさんと協働で はり紙、はり札、立看板 のない美しいまちに

「違反広告物撤去活動員」を募集します



安全な歩行空間やまちの美観を阻害する道路上の電柱などに設置されたはり紙、はり札、立看板などの違反広告物は、財産権の問題などがあり現在、道路パトロールや三鷹警察署などの協力を得て市で撤去しています。しかし、撤去してもすぐに設置されていることも多く、行政のみの対応には限界があるのが実情です。

市では市民のみなさんの協力を得て、こうしたはり紙、はり札、立看板を撤去する「三鷹市違反広告物撤去活動員制度」をスタートします。ボランティアに応募した方に講習を受講していただき、「三鷹市違反広告物撤去活動員」として広告物の撤去を委任します。

↓道路整備課 ☎内線2844

三鷹市広報番組
みる・みる・三鷹
武蔵野三鷹ケーブルテレビ5CH
1日4回放送9:30/14:30/19:30/23:30
●第175回(10月5日〜10月18日放送)
消費者月間の関連行事/西社会教育会館「親子伝承遊び」/「山本有三・三木露風展」〜「田園」に「未来」をたくして〜

三鷹市市政情報番組
おはよう!三鷹市です
FMむさしの78.2MHz
月〜金曜日10:20〜25放送

- ◆撤去対象となる違反広告物
屋外広告物法および東京都屋外広告物条例により広告物の掲出を禁止されている道路上の街路灯、街路樹、ガードレール、電柱、信号機などに取り付けられたはり紙、はり札、立看板。
- ◆活動員になれる方
在勤・在学を含む20歳以上の市民で、3人以上のグループを構成し、ボランティアとして継続的に活動できる方。
- ◆講習会など
市が行う講習会(①10月下旬、②11月上旬を予定)を必ず受講していただきます。講習終了後「違反広告物撤去活動員」として委任し、身分証明証と腕章、活動に必要な手袋、ニッパー、ゴミ袋などを提供します。
- ◆活動にあたって
事前に活動日時、場所などを市と調整し、必ず3人以上で活動してください。終了後は報告書を提出していただきます。
●活動中の事故に備え、三鷹市市民活動災害補償保険に加入します。
●撤去した違反広告物は、市が回収・処分します。
- ◆申込方法
10月6日(月)〜20日(月)に、グループの代表者が所定の申請用紙に必要事項を記入し、道路整備課(市役所5階)へ申し込む。
※この期間後も受け付けます
くわしくは道路整備課 ☎内線2844へ。

10月6日(月)から市内協力医療機関で実施するインフルエンザ予防接種で、今年も、昨年までの高齢者(65歳以上)に加え、60〜64歳の方と東京都の医療費助成などを受けている方にも接種費用の一部を公費負担します。

これは、インフルエンザの発症を抑えるためと同時に、新型コロナウイルス対策の一環として、初期症状が似ているインフル

インフルエンザ予防接種の助成対象を拡大(SARS対応)
60歳以上の方と都の医療助成対象者にも

第2回プレ・タウンミーティング

↓市長室 ☎内線2011

2回の試行を生かして
第1回市長と語り合う会
(タウンミーティング) 参加者募集
「子育ての喜びと悩みについて」

日ごろの思いを市長に話してみませんか。

※傍聴など会の運営方法は、課題、対象者などによってその都度設定してまいります。

◆第1回市長と語り合う会
「子育ての喜びと悩みについて」
対象は乳児(0〜3歳)を子育て中の方。
▽10月22日(水)午後2時〜4時、すくすくひろば(下連雀4-19-6)2階グループ室で。
▽10月13日(水) (必着) までに往復はがきに「タウンミーティング参加希望」、①住所・②氏名(ふりがな)・③性別・④電話番号・⑤年齢・⑥保育の希望の有無を記入し「〒181-8555三鷹市役所市長室」へ申し込む。定員10人(定員を超えた場合は抽選)。
※プレ・タウンミーティング①子どもにとって地域とは(8月26日実施)、②長寿社会と地域について(9月13日実施)の記録については、ホームページなどで公開します。

くわしくは10面に掲載
↓総合保健センター ☎46-3254

地域の国際交流の重み
三鷹市長 清原 慶子

カンボジアからの留学生らと

秋の青空がみごとに広がる9月28日、井の頭公園西園には14回目を数える「三鷹国際交流フェスティバル」をめぐり3万7千500人の人々が集まりました。カラフルなテントの下には、約100組の国際交流に関する組織・団体のお店が並んで壮観です。中央ステージでは民族舞踊などが繰り広げられ、アジア、アフリカを初め世界の国々や地域の食、衣服、日用品などに表れるくらしの文化、音楽や芸術、そしてその歴史についての理解が深まります。

このフェスティバルは、(財)三鷹国際交流協会の主催、三鷹青年会議所の共催で開かれていますが、今年も例年以上に参加者が多く、地域の国際交流の広がりと重みに、触れ合いの感動を得ました。インターネットの普及で、地球は小さく、世界は狭くなったと感じるこの頃ですが、私は、直接的な出会いこそが、真の国際理解につながると思っています。地域での異文化間交流を通して、文化や価値観の多様性を知り、平和の基礎である相互理解や信頼が築かれると思っています。

さて、9月19日には、第3期の「みたか国際化円卓会議」が発足しました。これは、外国籍市民と外国人相談や国際交流に関わる市民の皆さんに、三鷹の国際化に関する諸問題とその解決方策について提言をいただくために設置しているものです。

三鷹という地域から、地域の生活に根ざした、「国際交流」と呼ぶべき国際交流・国際化の取り組みが重ねられていることに感謝し、これからも大切にしていきたいと考えています。